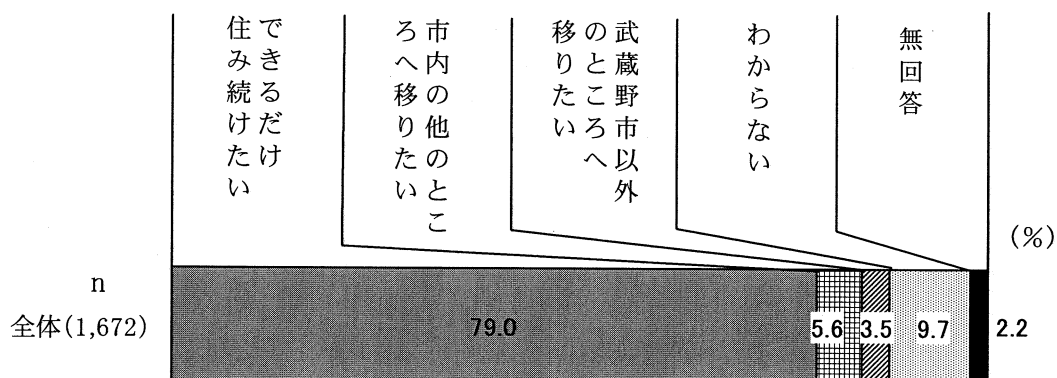


1-5 定住意向

◎ 「できるだけ住み続けたい」が約8割と最も多い

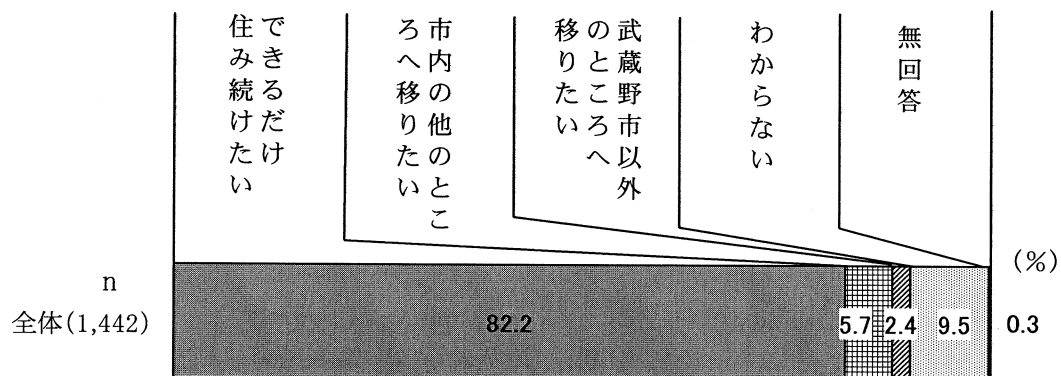
問5-1 あなたは、現在住んでいるところにこれからも住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

図表1-25 定住意向



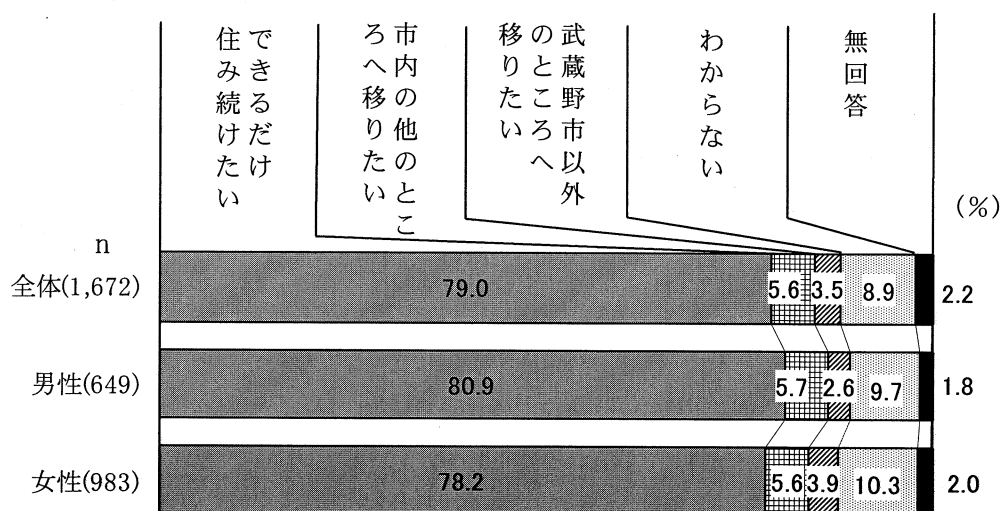
定住意向としては、「できるだけ住み続けたい」が約8割と最も多くなっている。(図表1-25)

参考：平成19年度調査の結果



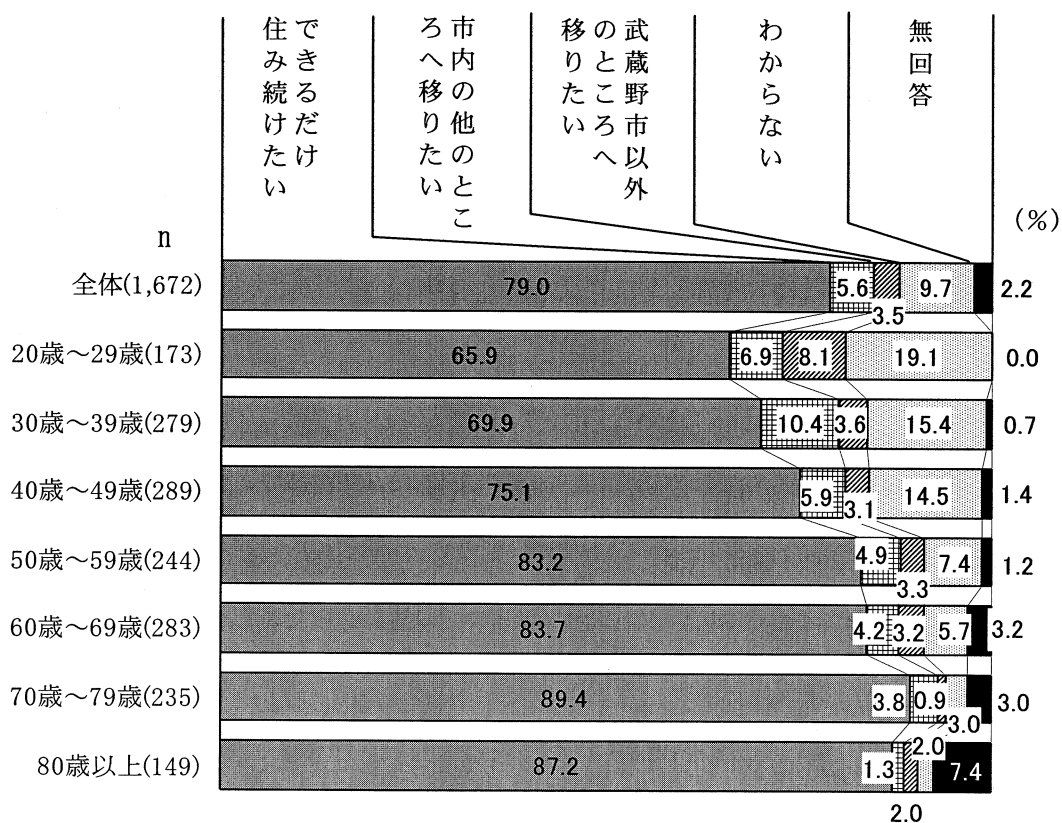
前回調査と比較すると、「できるだけ住み続けたい」が若干減少しているが、全体としては特に大きな変化は見られない。

表 1-26 定住意向 (性別)



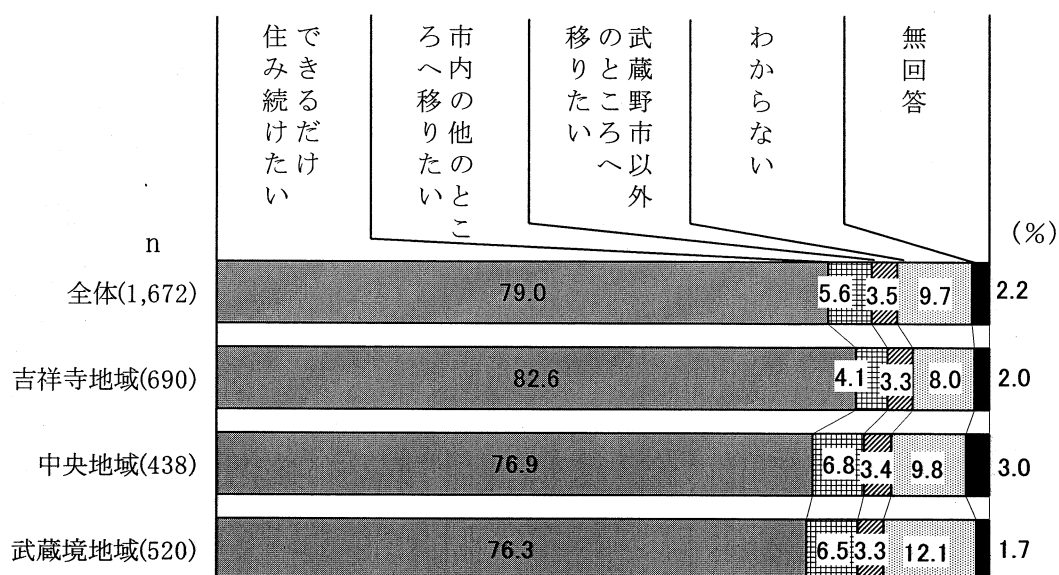
性別に見ると、男性では「できるだけ住み続けたい」が8割を超えており、女性に比べて若干高くなっている。(図表1-26)

図表 1-27 定住意向 (年代別)



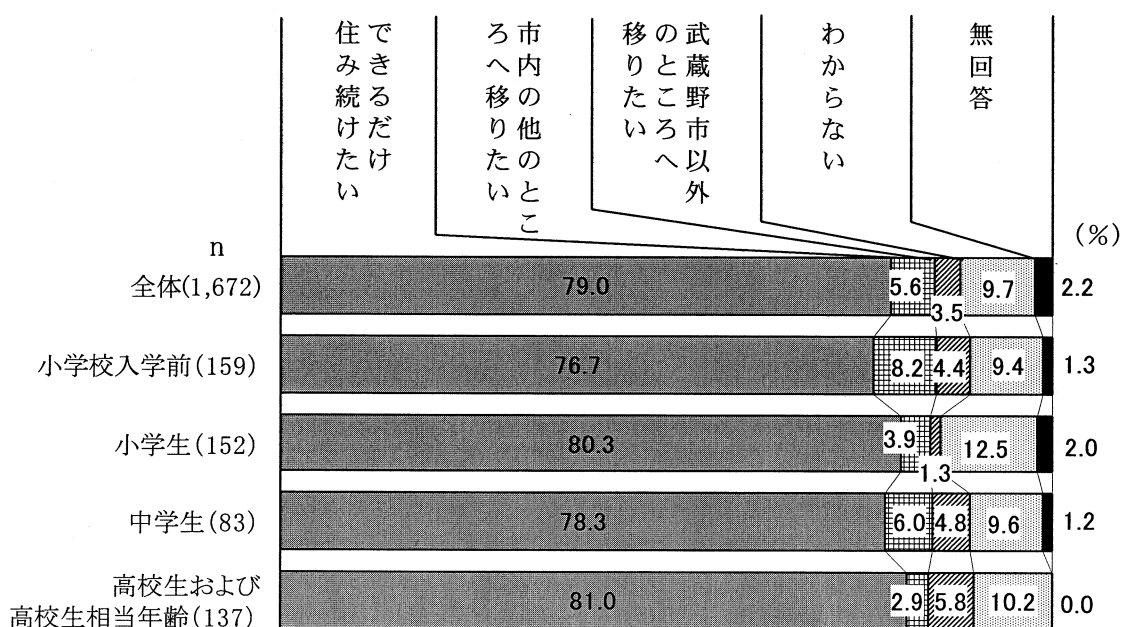
年代別で見ると、「できるだけ住み続けたい」は70歳～79歳が最も高く、約9割を占めている。また50歳以上で8割を超えており、これらの年代の市内、特に現在の居住地への定住意向は非常に高くなっている。一方、20歳～29歳および30歳～39歳では「できるだけ住み続けたい」が7割に満たない一方で「わからない」が他の年代よりも多くなっている。(図表1-27)

図表 1-28 定住意向 (居住地域別)



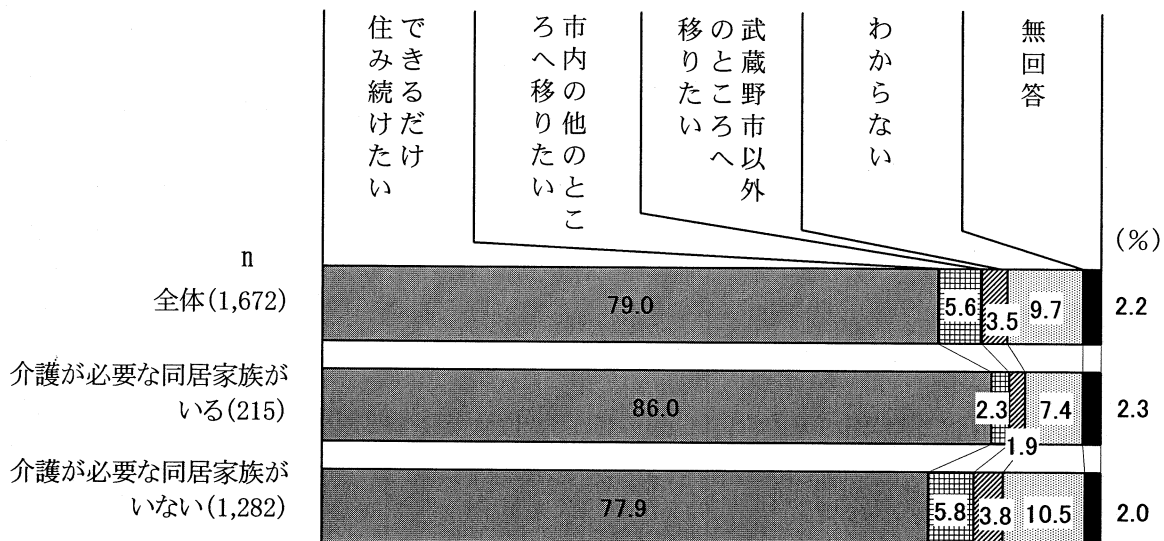
居住地域別で見ると、「できるだけ住みたい」は、吉祥寺地域で8割強と最も多い。「市内の他のところへ移りたい」は中央地域が最も高くなっている。(図表1-28)

図表 1-29 定住意向 (子どもの就学状況別)



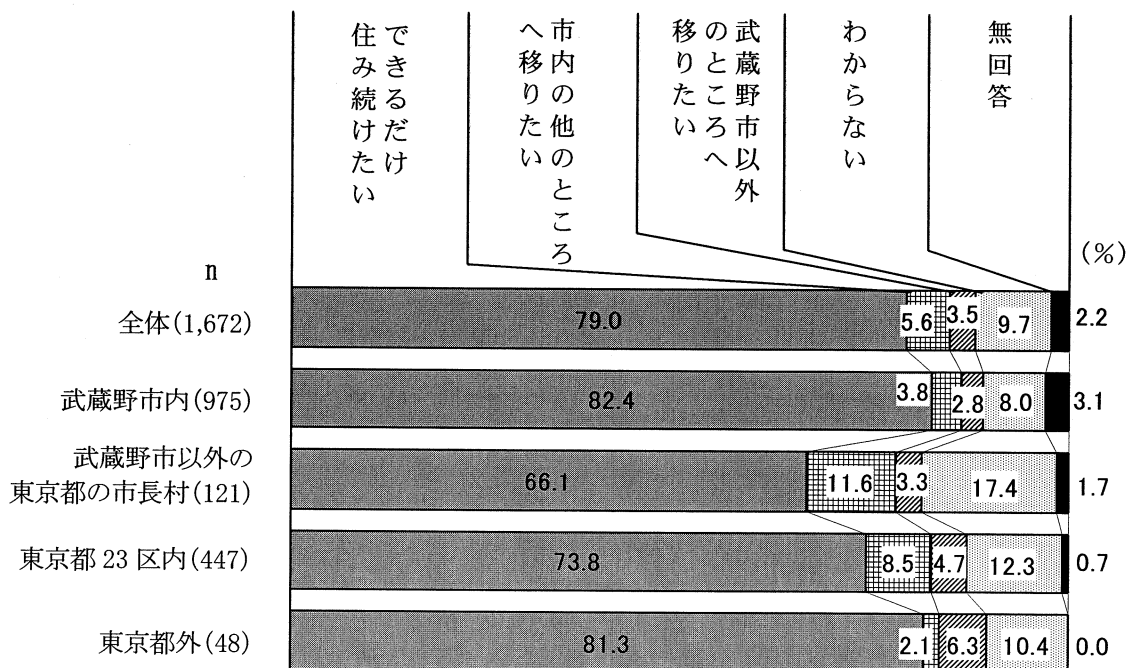
子どもの就学状況別に見ると、「できるだけ住みたい」は高校生および高校生相当年齢で最も高く8割を超えており、小学校入学前で7割台半ばと最も低くなっている。しかし「市内の他のところへ移りたい」を含めると、小学校入学前が8割台半ばと最も高くなっている。(図表1-29)

図表 1－30 定住意向（介護が必要な同居人の有無別）



介護が必要な同居人の有無別に見ると、介護が必要な同居家族がいる場合は「できるだけ住み続けたい」が介護が必要な同居家族がいない場合に比べて 8.1 ポイント高くなっており、介護を行っている家庭の定住意向の高さがうかがえる。（図表 1－30）

図表 1－31 定住意向（日中多く時間を過ごす場所別）



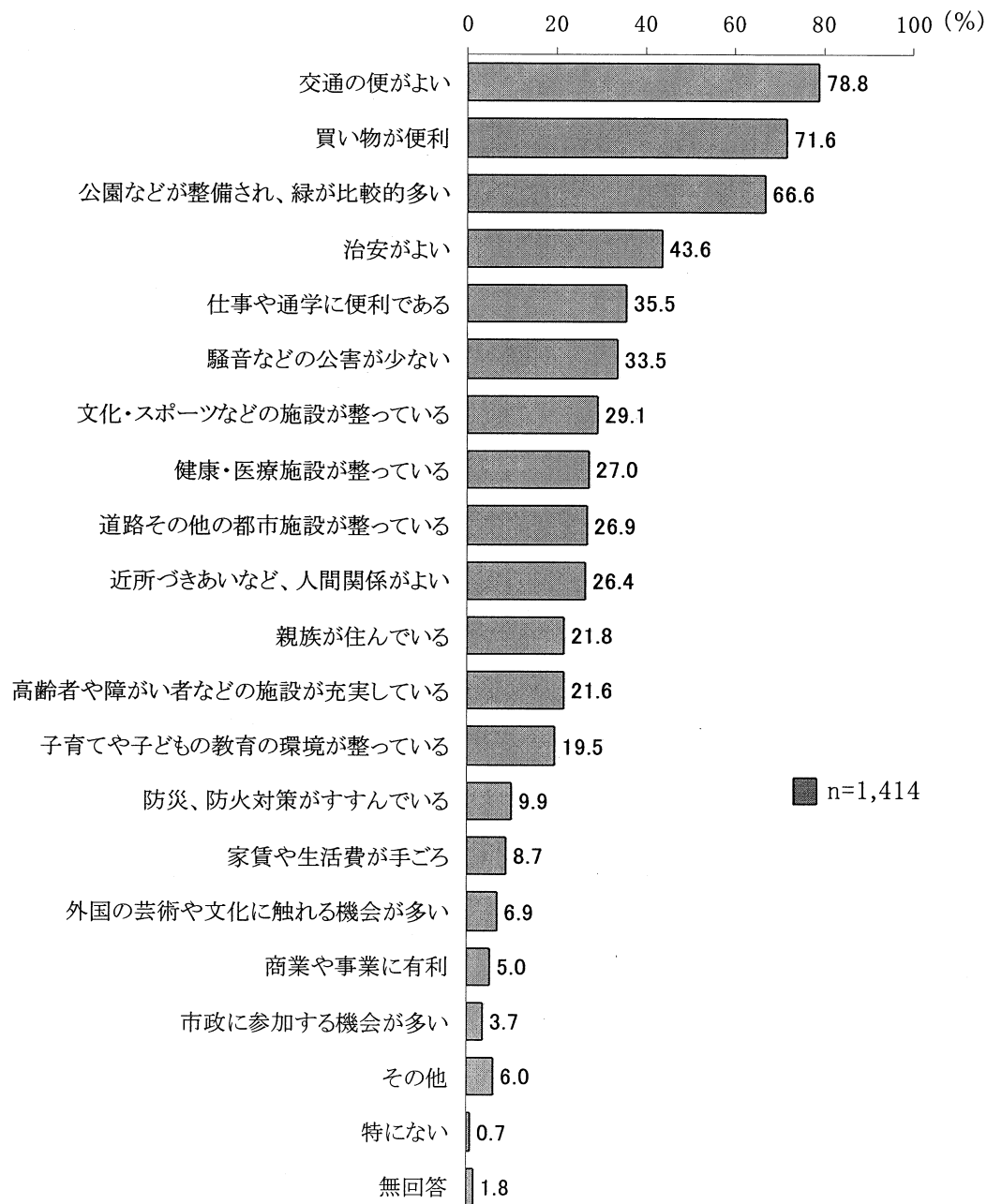
日中多く時間を過ごす場所別に見ると、「できるだけ住み続けたい」は武蔵野市内のほか、東京都外でも 8 割を超えている。一方、武蔵野市以外の東京都の市町村では 6 割台半ばと低くなっているが、「市内の他のところへ移りたい」では 1 割を超える高い割合となっている。（図表 1－31）

1-6 定住意向の理由

- ◎ 「交通の便がよい」、「買い物が便利」、「公園などが整備され、緑が比較的多い」が上位3項目を占める。

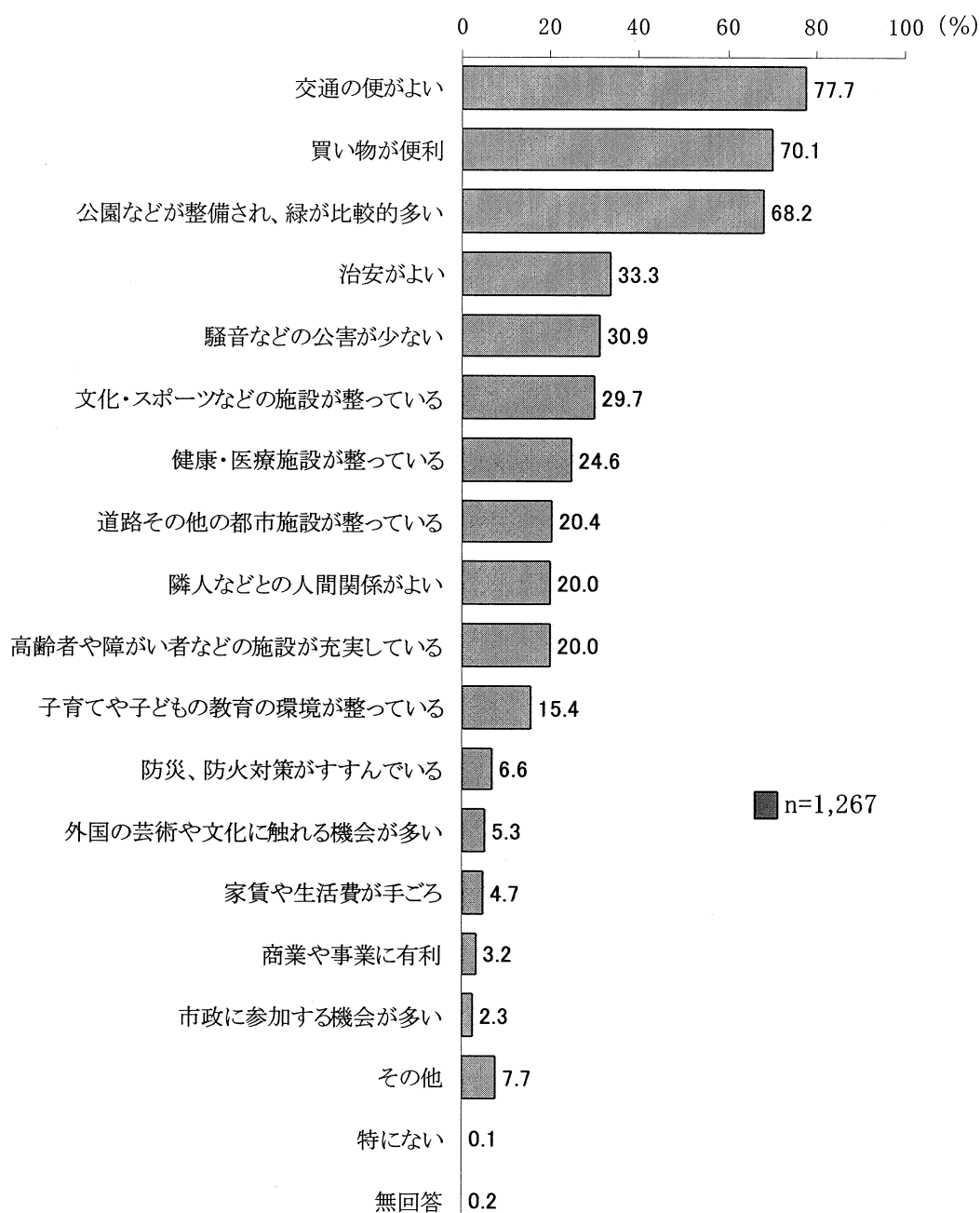
(問5-1で「できるだけ住み続けたい」か「市内の他のところへ移りたい」とお答えの方に)
問5-2 武蔵野市内に住み続けたい理由は何ですか。(○はいくつでも)

図表1-32 定住意向の理由(複数回答)



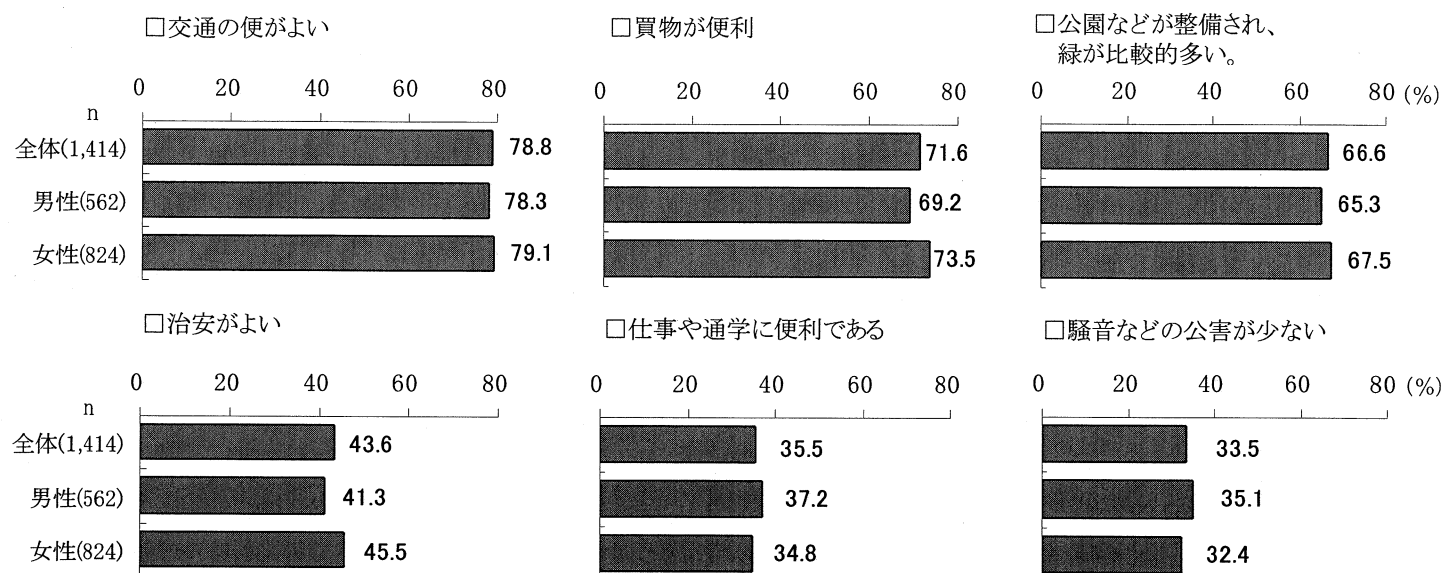
定住意向の理由としては、「交通の便がよい」が7割台半ばを超えて最も多い。次いで「買い物が便利」が約7割、「公園などが整備され、緑が比較的多い」が6割半ばで続いている。(図表1-32)

参考：平成19年度調査の結果



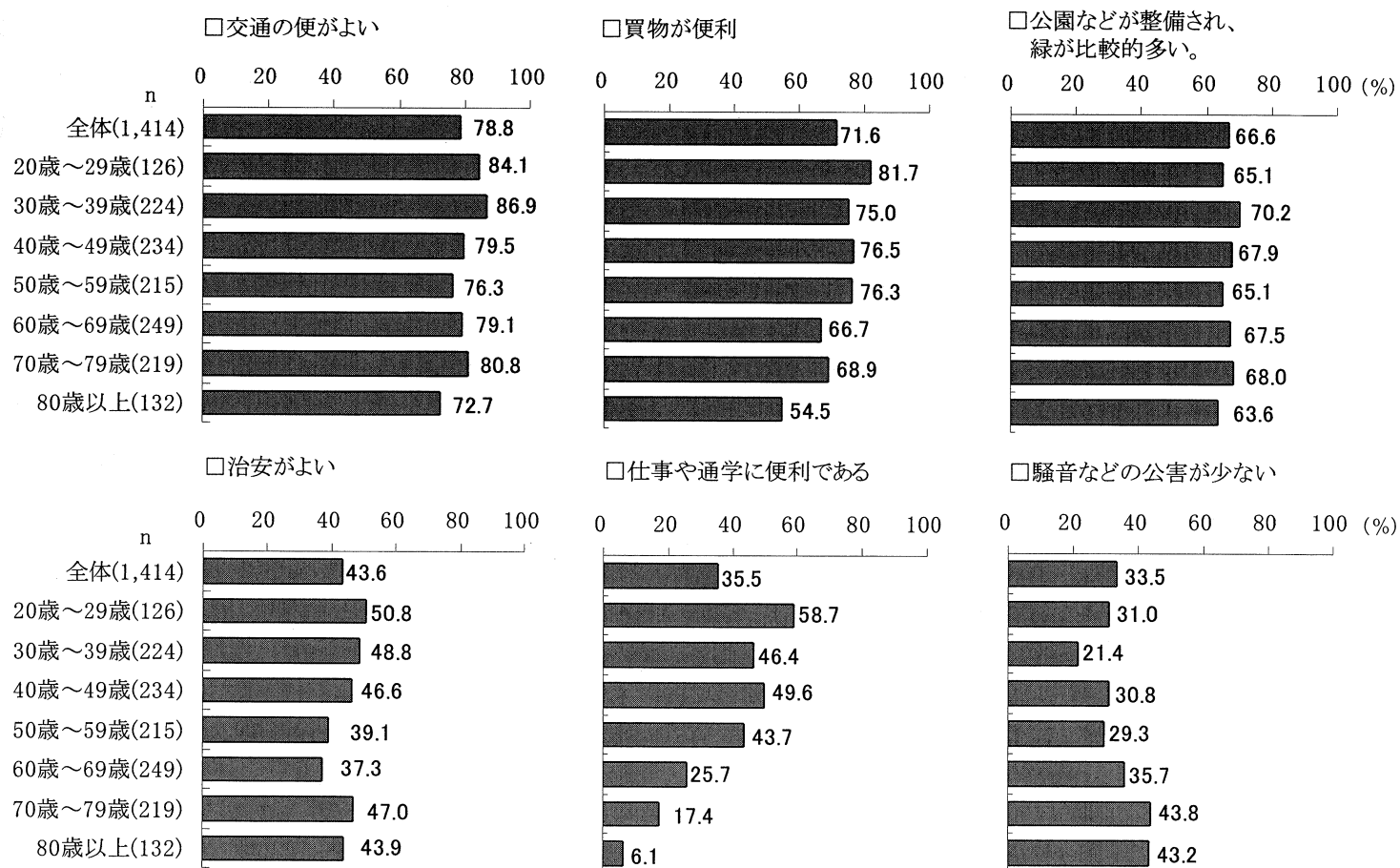
前回調査と比較すると、一部選択肢の変更があったものの大きく順位は変わっておらず、上位3項目の割合が高い点も同様である。なお割合を見てみると、「治安がよい」が前回調査から1割程度上昇しており、治安に対する意識の高まりを見て取ることができる。

図表 1-33 定住意向の理由 (性別) 上位 6 項目



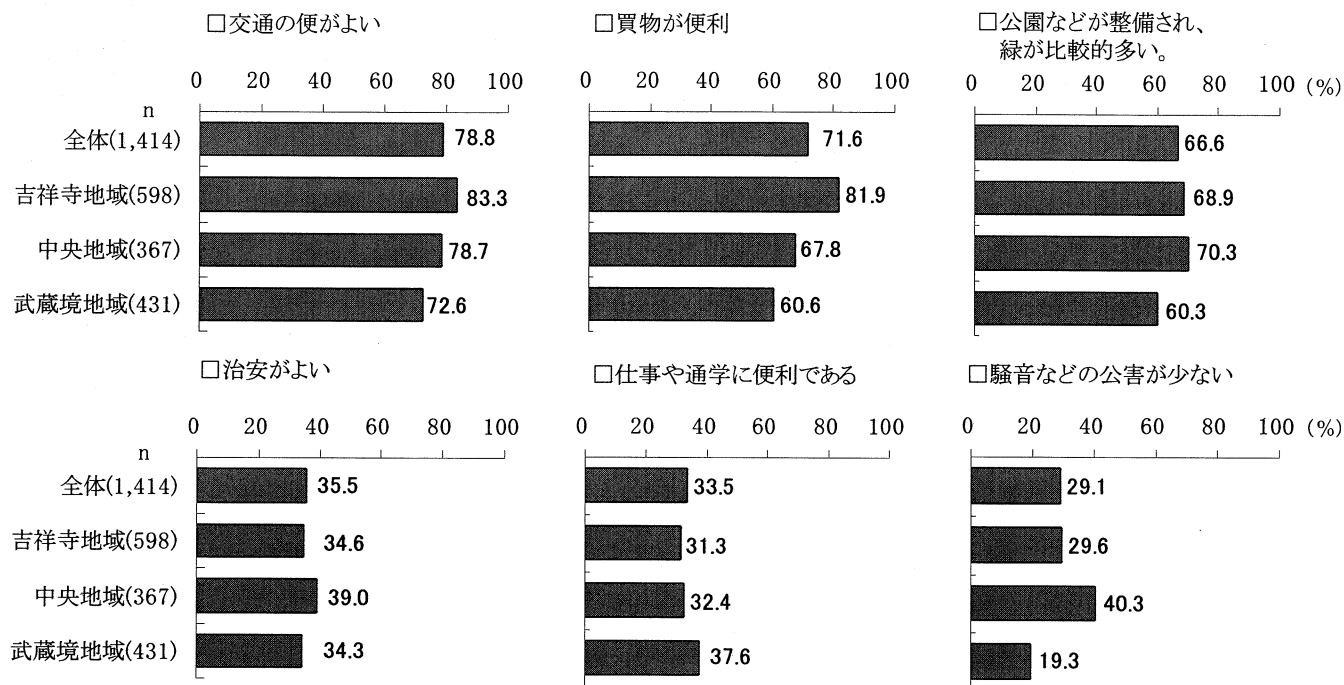
上位 6 項目について、性別で見ると、上位 4 項目は女性の方が割合が高く、中でも「買物が便利」では、女性の方が男性よりも 4.3 ポイント、「治安がよい」では 4.2 ポイント、女性が男性を上回っている。一方、男性は「仕事や通学に便利である」「騒音などの公害が少ない」の割合が女性に比べ高くなっている。(図表 1-33)

図表 1-34 定住意向の理由 (年代別) 上位 6 項目



年代別で見ると、「交通の便がよい」では、30歳～39歳で8割台後半、次いで20歳～29歳で8割台半ばとなっており、この年代では通勤、通学の利便性を重視する傾向が表れていると考えられる。また「買い物が便利」では、20歳～29歳で8割を超えている。「公園などが整備され、緑が比較的多い」では、30歳～39歳で7割強と最も多い。「騒音などの公害が少ない」では、30歳～39歳で約2割であるのに対して、70歳以上では4割を超えている。（図表1－34）

図表1－35 定住意向の理由（居住地域別） 上位6項目



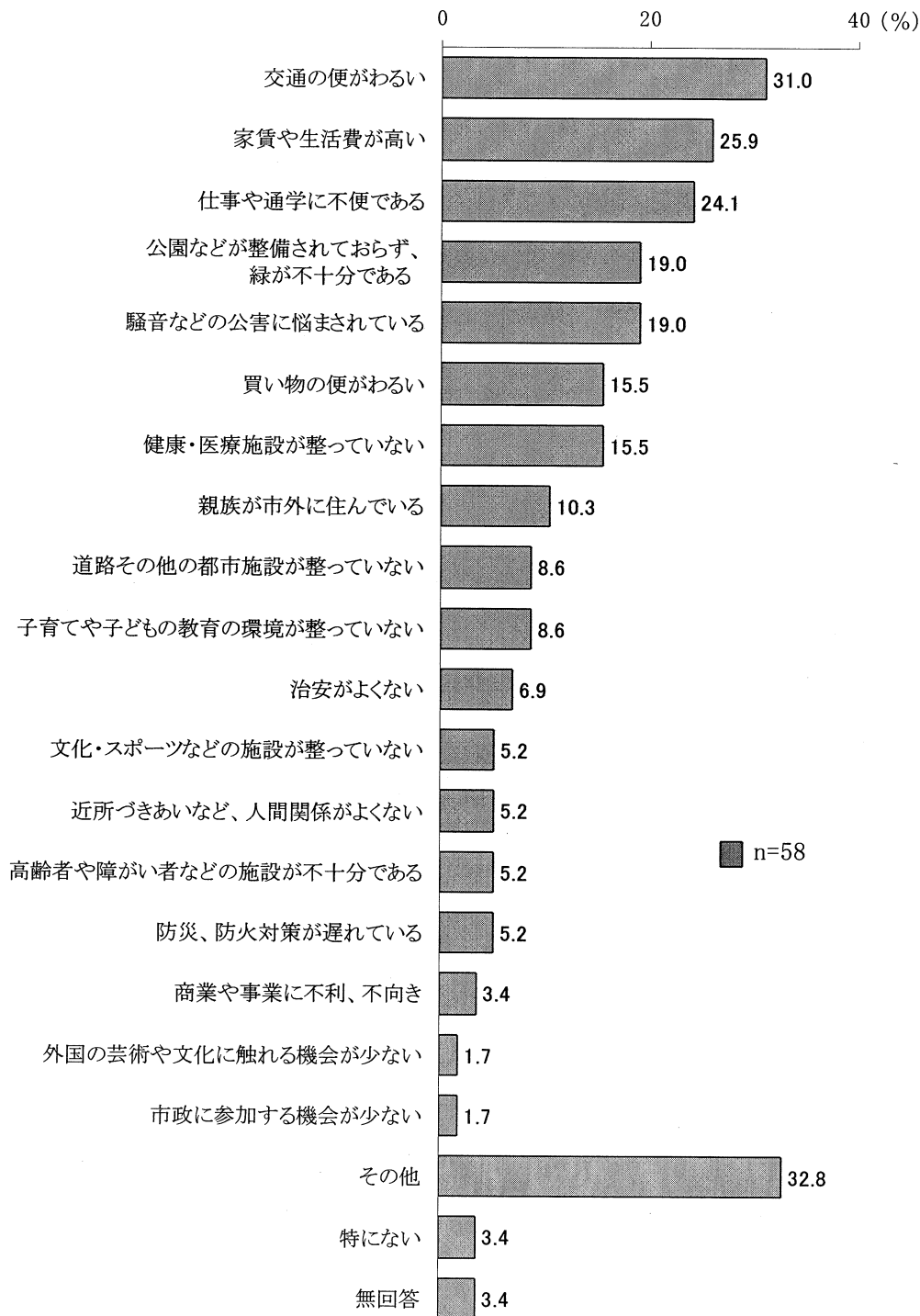
居住地域別で見ると、「交通の便がよい」および「買い物が便利」では、吉祥寺地域で8割を超えており、特に「買い物が便利」は吉祥寺地域の割合の高さが顕著である。また「公園などが整備され、緑が比較的多い」「治安がよい」「騒音などの公害が少ない」では、中央地域が高くなっている。「仕事や通学に便利である」は武蔵境地域が高くなっている。（図表1－35）

1-7 転出意向の理由

◎ 「交通の便がわるい」が約3割と最も多い。

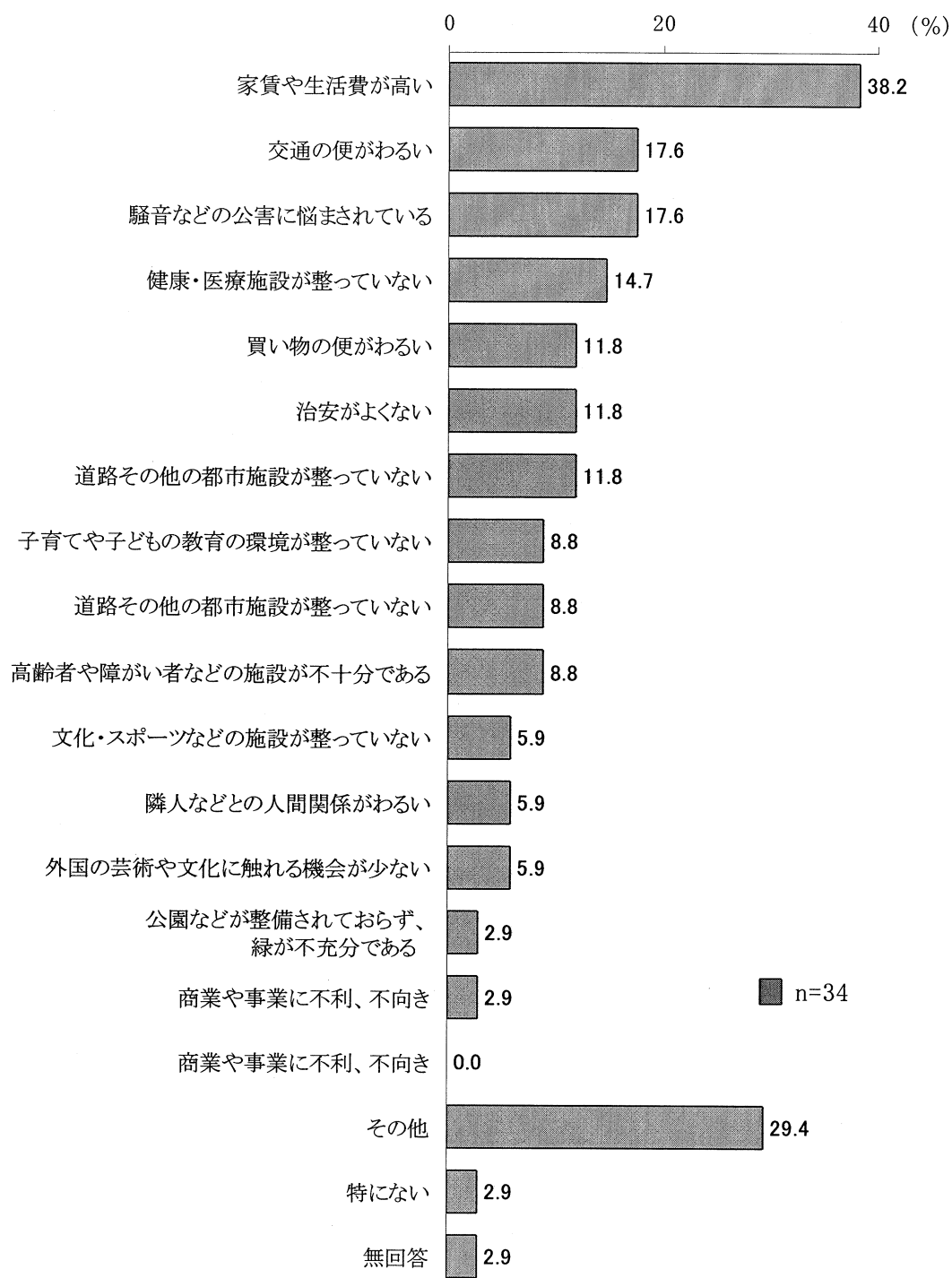
(問5-1で「武蔵野市以外のところへ移りたい」とお答えの方に)
問5-2 武蔵野市外に移りたい理由は何ですか。(○はいくつでも)

図表1-36 転出意向の理由(複数回答)



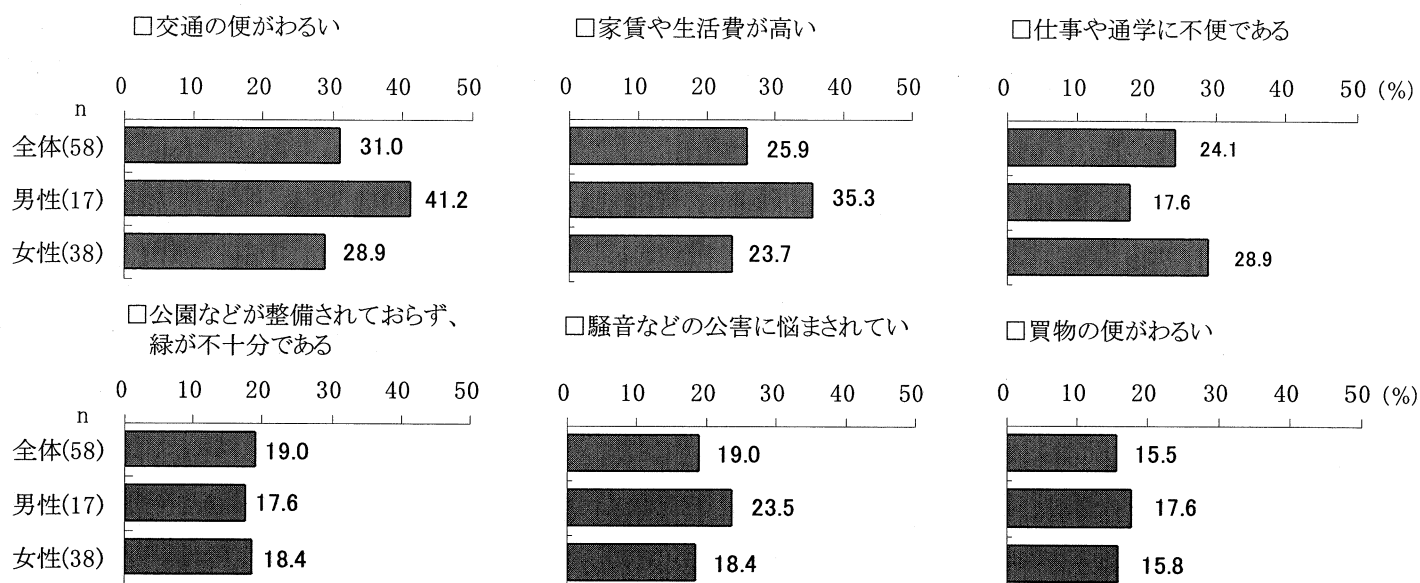
転出意向の理由としては、「交通の便が悪い」が約3割と最も多い。次いで「家賃や生活費が高い」と「仕事や通学に不便」が2割台半で続いている。(図表1-36)

参考：平成19年度調査の結果



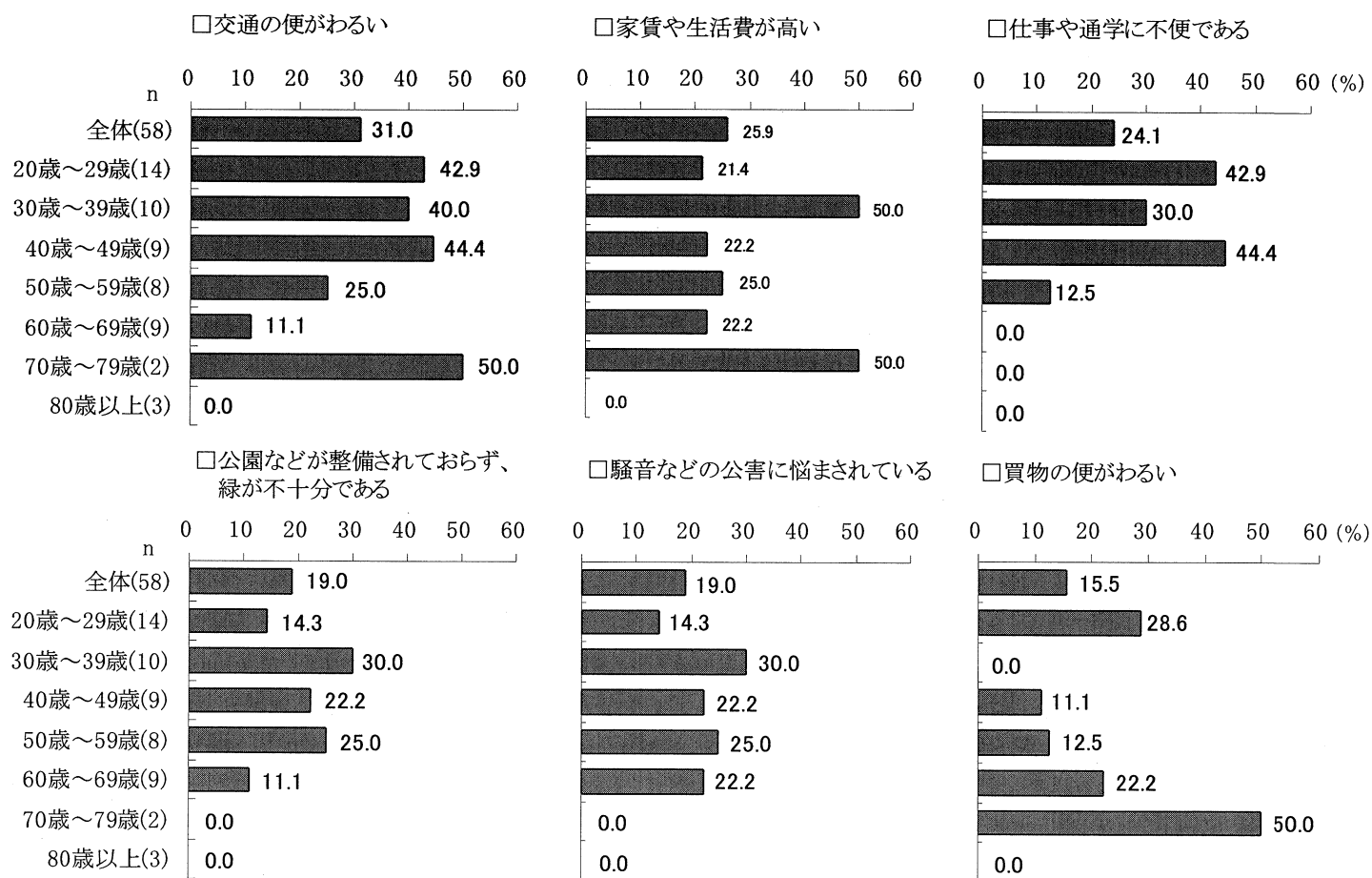
前回調査と比較すると、前回調査では1位であった「家賃や生活費が高い」が2位となり、代わりに「交通の便がわるい」が1位となっている。割合についてみると、「交通の便がわるい」に1割以上の大幅な増加が見られる。

図表 1-37 転出意向の理由 (性別) 上位 6 項目



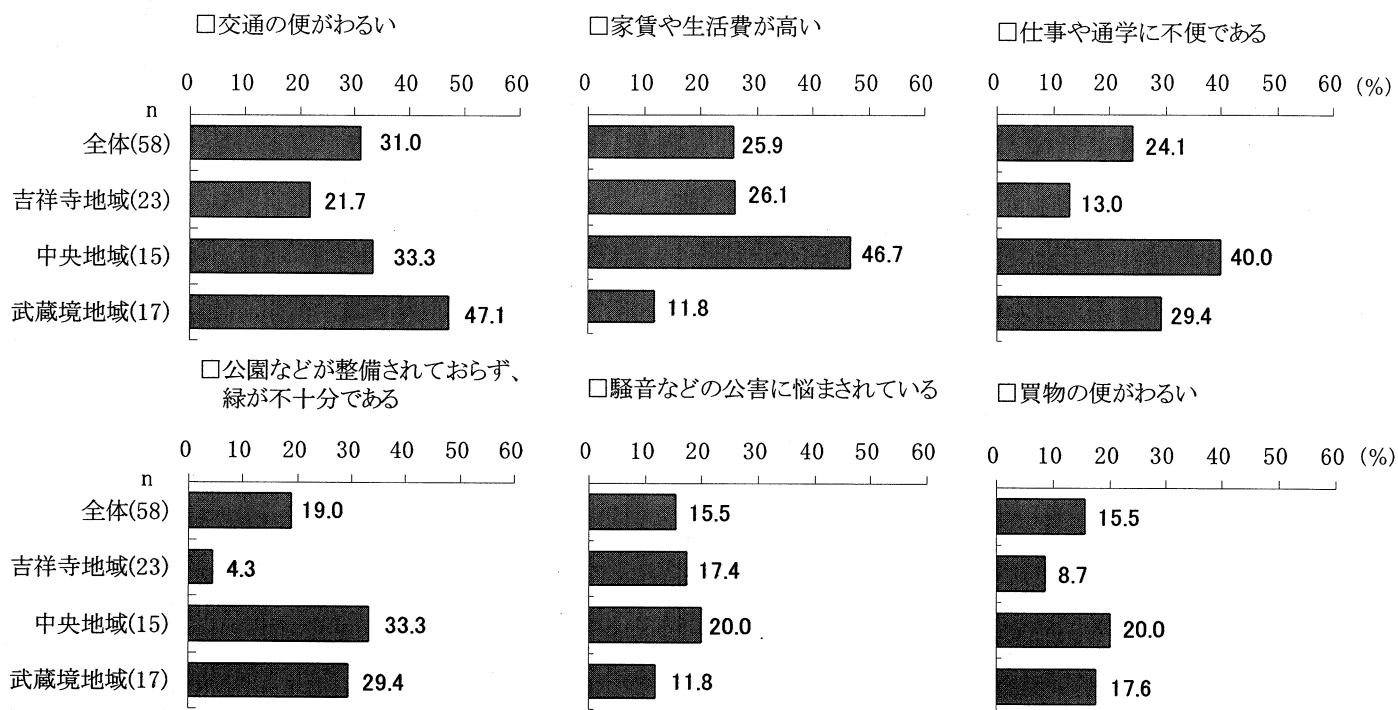
上位 6 項目について、性別で見ると、男性は、「交通の便が悪い」では女性に比べ 12.3 ポイント、「家賃や生活費が高い」では 11.6 ポイント高くなっている。一方、女性では「仕事や通学に不便である」が男性に比べ 11.3 ポイント高くなっている。(図表 1-37)

図表 1-38 転出意向の理由 (年代別) 上位 6 項目



年代別に見ると、「交通の便がわるい」「家賃や生活費が高い」「買物の便がわるい」において70歳～79歳が5割と高くなっている。「家賃や生活費が高い」は、30歳～39歳でも5割である。また「仕事や通学に不便である」では40歳～49歳が4割台半ば、20歳～29歳が4割台前半と続いている。「公園などが整備されておらず、緑が不十分である」「騒音などの公害に悩まされている」では30歳～39歳で3割と最も高い。（図表1－38）

図表1－39 転出意向の理由（居住地域別） 上位6項目



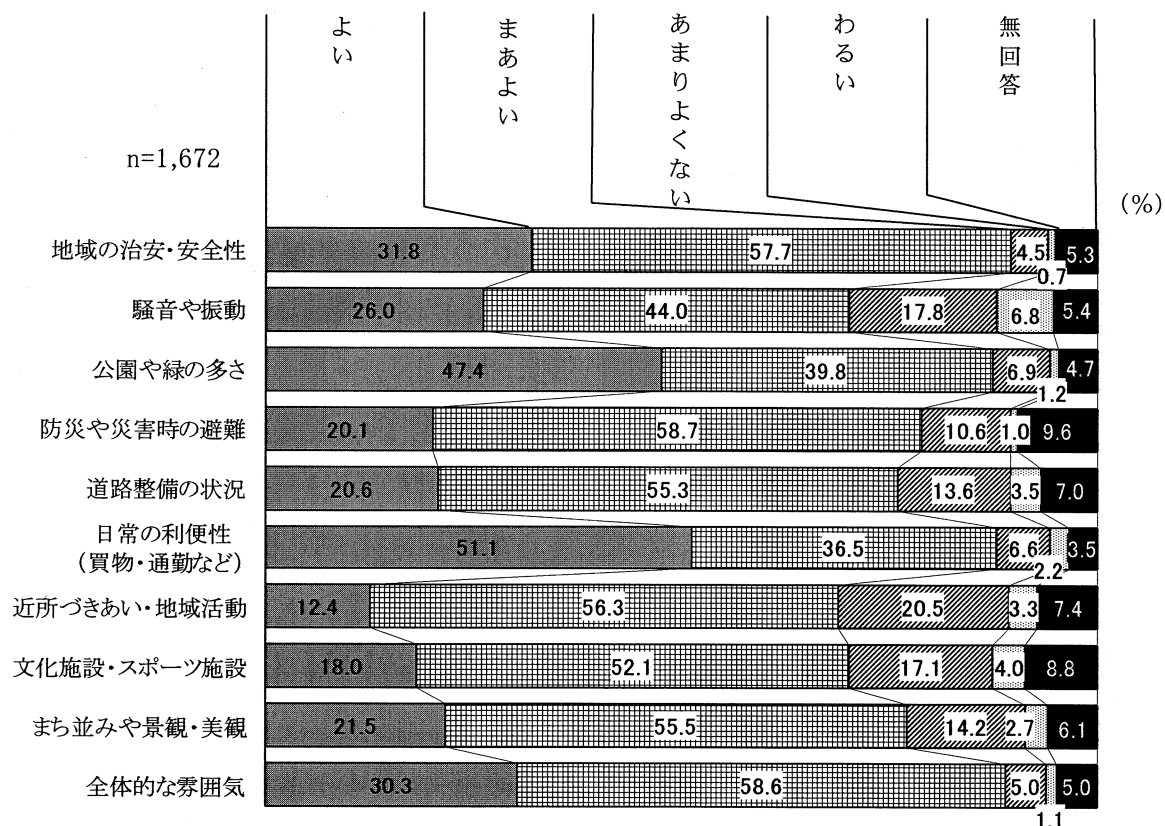
居住地域別に見ると、「交通の便がわるい」を除く項目について、中央地域が高い割合を示している。「交通の便がわるい」では武蔵境地域が5割に近く最も高い。（図表1－39）

1-8 生活環境の評価

- ◎ 「よい」が〔日常の利便性（買物・通勤など）〕で約5割、〔公園や緑の多さ〕で4割台半ばを超える。〔全体的な雰囲気〕では「まあよい」が6割台半ばを超える。

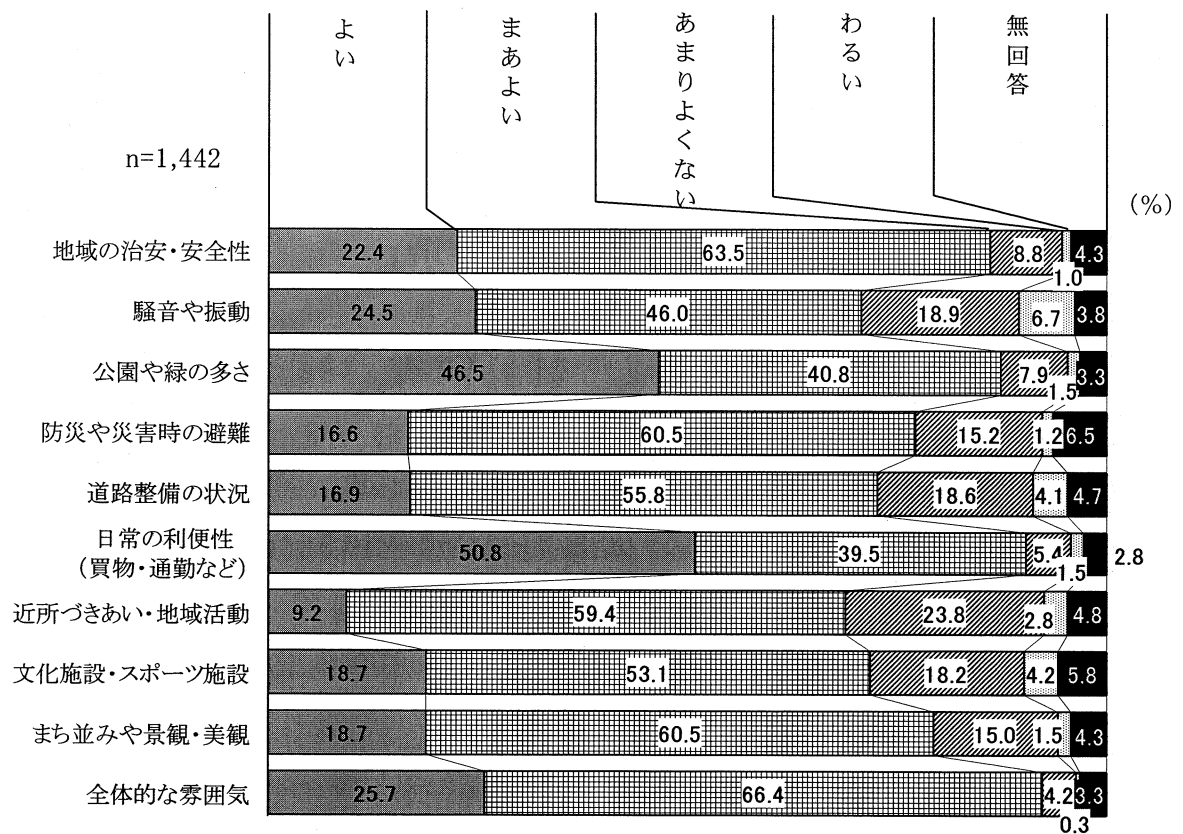
問6 あなたは、お住まいの周りの環境についてどう思いますか。（○はそれぞれ1つ）

図表1-40 生活環境の評価



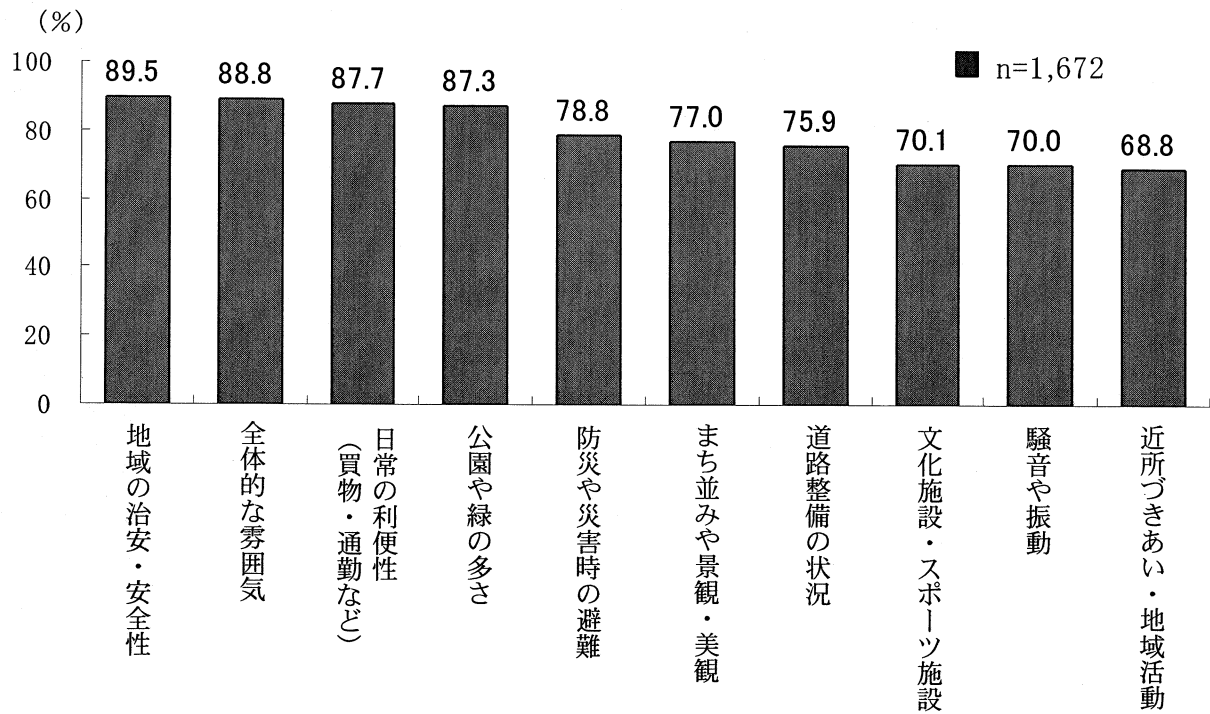
〔地域の治安・安全性〕と〔全体的な雰囲気〕は「よい」が3割を超え、「まあよい」が約6割となっている。その他に「よい」が多い項目は、〔日常の利便性（買物・通勤など）〕が約5割、〔公園や緑の多さ〕が4割台後半となっている。その他の項目では「まあよい」がそれぞれ最も多い。（図表1-40）

参考：平成19年度調査の結果



前回調査と比較すると、〔全体的な雰囲気〕は「いい」が4.6ポイント上昇しているのに対し、「まあいい」は1割弱減少している。個別に見ると、〔地域の治安・安全性〕について「いい」の割合が約1割上昇している。

図表 1－41 生活環境の評価（《よい》の多い順）



《よい》（「よい」＋「まあよい」）の多さでみると、〔地域の治安・安全性〕、〔全体的な雰囲気〕、〔日常の利便性（買物・通勤など）〕、〔公園や緑の多さ〕では8割台半ばを超えている。次いで、〔防災や災害時の避難〕、〔まち並みや景観・美観〕、〔道路整備の状況〕が7割台で高くなっている。（図表 1－41）

図表 1-42 生活環境の評価（《よい》の多い順、性別・居住地域別）

地域		順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体			地域の治安・安全性 89.5	全体的な雰囲気 88.8	日常の利便性（買物・通勤など） 87.7	公園や緑の多さ 87.3	防災や災害時の避難 78.8
性別	男性		地域の治安・安全性 90.1	全体的な雰囲気 89.7	日常の利便性（買物・通勤など） 88.9	公園や緑の多さ 87.2	防災や災害時の避難 78.4
	女性		地域の治安・安全性 90.0	全体的な雰囲気 89.6	公園や緑の多さ 88.2	日常の利便性（買物・通勤など） 87.3	防災や災害時の避難 79.9
居住地域別	吉祥寺地域		日常の利便性（買物・通勤など） 91.0	全体的な雰囲気 90.3	地域の治安・安全性 89.6	公園や緑の多さ 87.8	防災や災害時の避難 78.3
	中央地域		地域の治安・安全性 90.6	公園や緑の多さ 88.4	全体的な雰囲気 87.7	日常の利便性（買物・通勤など） 87.0	防災や災害時の避難 81.5
	武蔵境地域		地域の治安・安全性 89.4	全体的な雰囲気 88.8	公園や緑の多さ 86.5	日常の利便性（買物・通勤など） 84.2	まち並みや景観・美観 78.3

《よい》（「よい」＋「まあよい」）の上位5項目を各属性別に分析した。

性別で見ると、1位と2位は変わらないものの、男性では「日常の利便性（買物・通勤など）」が3位、女性では「公園や緑の多さ」が3位となっている。

居住地域別で見ると、吉祥寺地域で「日常の利便性（買物・通勤など）」が1位となっているが、中央地域、武蔵境地域では4位となっている。中央地域および武蔵境地域ではともに「地域の治安・安全性」が1位となっている。（図表1-42）

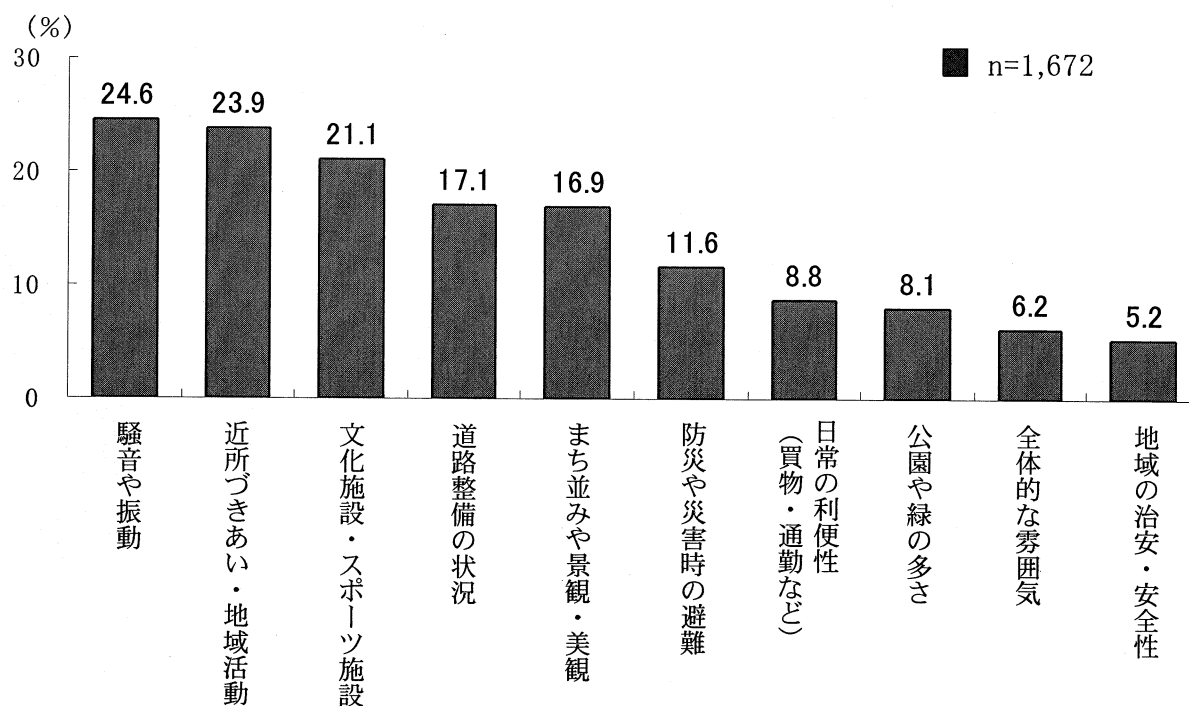
図表 1－43 生活環境の評価（《よい》の多い順、子どもの就学状況別・介護が必要な同居人の有無別）

地域		順位	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
子どもの就学状況別	小学校入学前		全体的な雰囲気 92.5	地域の治安・安全性 90.6	防災や災害時の避難（同率 2 位） 90.6	公園や緑の多さ 87.4	日常の利便性（買物・通勤など） 86.8
	小学生		全体的な雰囲気 92.1	地域の治安・安全性 88.2	日常の利便性（買物・通勤など） 85.5	公園や緑の多さ 83.6	防災や災害時の避難（同率 4 位） 83.6
	中学生		全体的な雰囲気 92.8	地域の治安・安全性 89.2	日常の利便性（買物・通勤など） 86.7	公園や緑の多さ 85.5	まち並みや景観・美観 81.9
	高校生及び高校生相当年齢		全体的な雰囲気 93.4	地域の治安・安全性（同率 1 位） 93.4	日常の利便性（買物・通勤など） 91.2	公園や緑の多さ 88.3	防災や災害時の避難 83.2
介護が必要な同居家族の有無別	いる		全体的な雰囲気 91.6	地域の治安・安全性 89.8	日常の利便性（買物・通勤など） 88.8	公園や緑の多さ 88.4	道路整備の状況 77.7
	いない		地域の治安・安全性 90.2	全体的な雰囲気 89.3	公園や緑の多さ 88.5	日常の利便性（買物・通勤など） 88.1	防災や災害時の避難 80.7

《よい》（「よい」＋「まあよい」）の多い順を子どもの就学状況別に見ると、いずれの就学状況でも 1 位は「全体的な雰囲気」となり、2 位は「地域の治安・安全性」という結果となった。（高校生及び高校生相当年齢では同率 1 位） 3 位は小学校入学前を除いて「日常の利便性（買物・通勤など）」となっている。

介護が必要な同居家族の有無別に見ると、同居家族がいる場合の 1 位は「全体的な雰囲気」、2 位は「地域の治安・安全性」となっている。介護が必要な同居家族がいない場合は、1 位が「地域の治安・安全性」、2 位が「全体的な雰囲気」と、介護が必要な同居家族がいる場合と逆になっている。（図表 1－43）

図表 1－44 生活環境の評価（《わるい》の多い順）



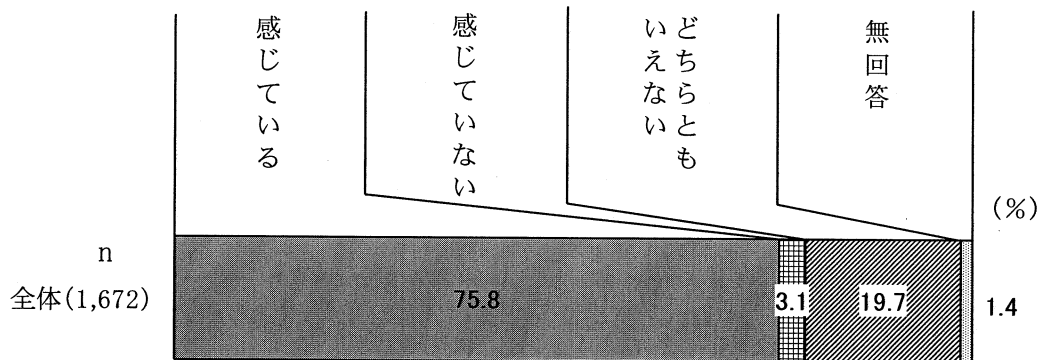
《わるい》（「あまりよくない」＋「わるい」）の多さでみると、〔騒音や振動〕が24.6ポイント、次いで〔近所づきあい・地域活動〕が23.9ポイントとなっている。〔文化施設・スポーツ施設〕も2割を超えている。（図表1－44）

1-9 武蔵野市への誇り・愛着

◎ 「感じている」が7割台半ばを超えて最も多い。

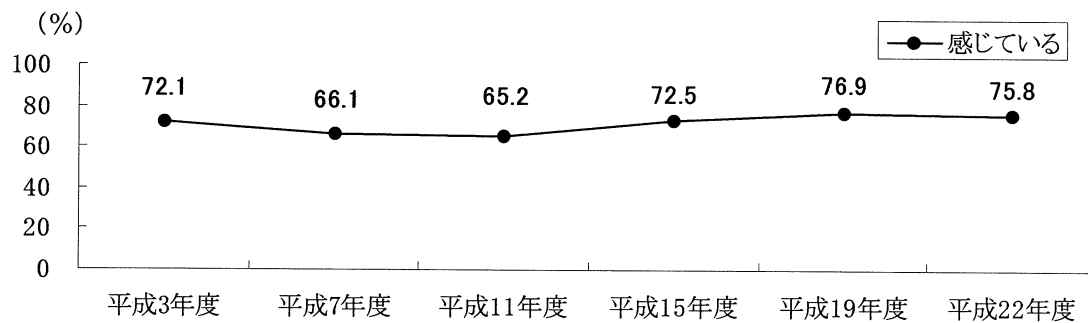
問7 あなたは、武蔵野市に誇りや愛着を感じていますか。(○は1つ)

図表1-45 武蔵野市への誇り・愛着



武蔵野市への誇り・愛着については、「感じている」が7割台半ばを超えて最も多くなっている。(図表1-45)

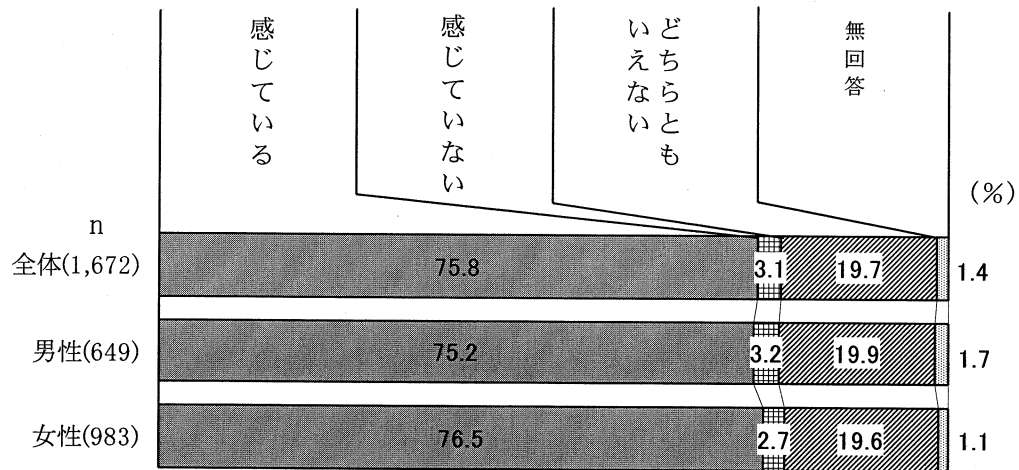
図表1-46 武蔵野市への誇り・愛着(経年比較)



※ 平成15年度調査以前では、選択肢「感じている」は「感じる」の表記となっている。

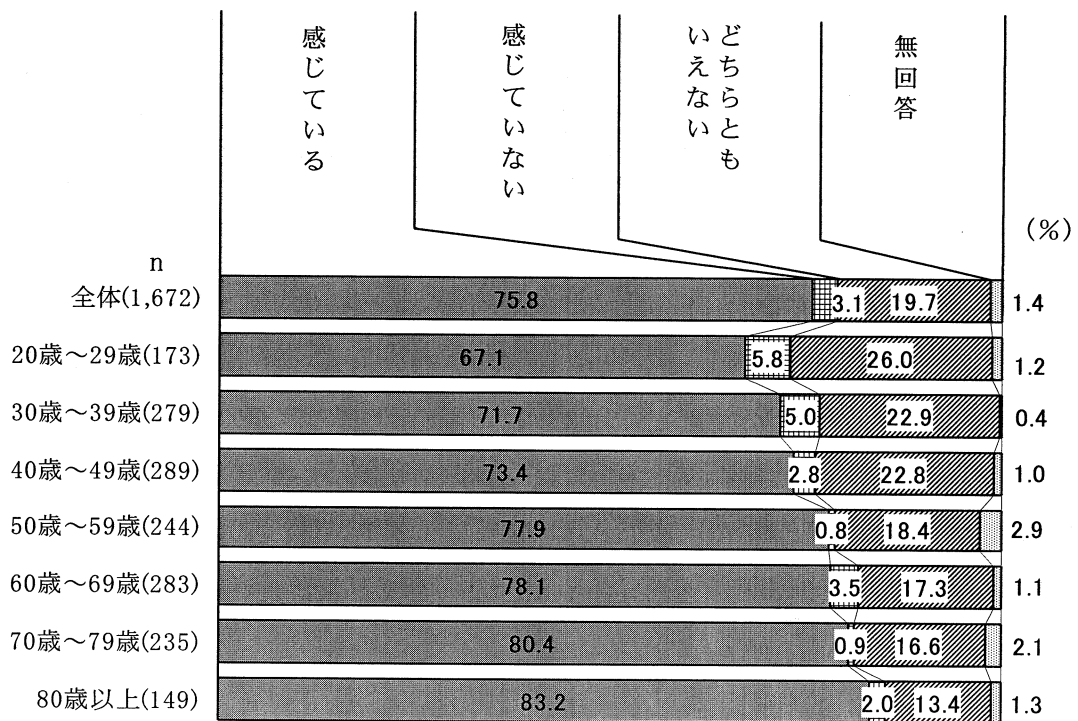
武蔵野市への誇り・愛着を「感じている」割合を過去の調査と比較すると、「感じている」は平成11年度以降、平成19年まで増加する傾向にあったが、今回調査では75.8ポイントと若干低下している。(図表1-46)

図表 1 - 47 武蔵野市への誇り・愛着 (性別)



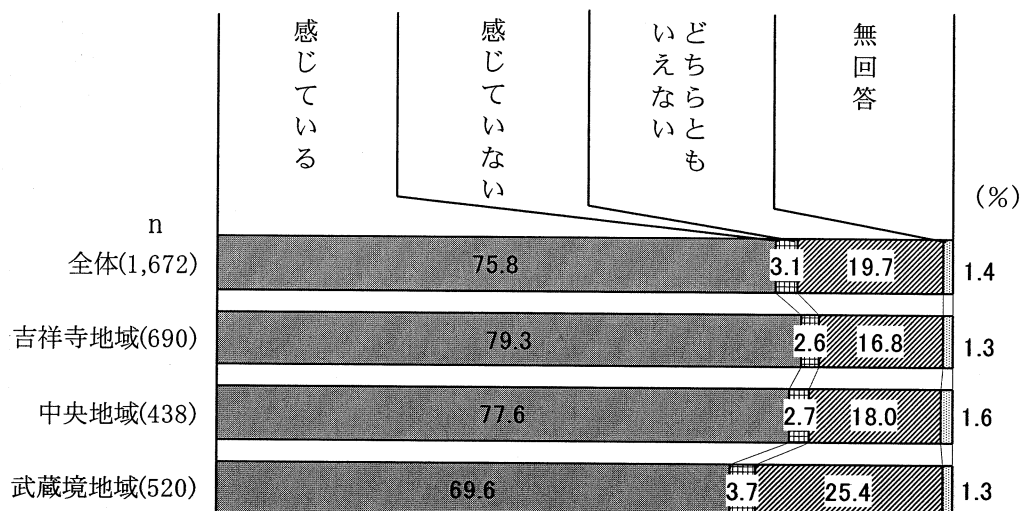
性別で見ると、「感じている」は、女性の方が男性よりも多いが、特に大きな違いは見られない。(図表 1 - 47)

図表 1 - 48 武蔵野市への誇り・愛着 (年代別)



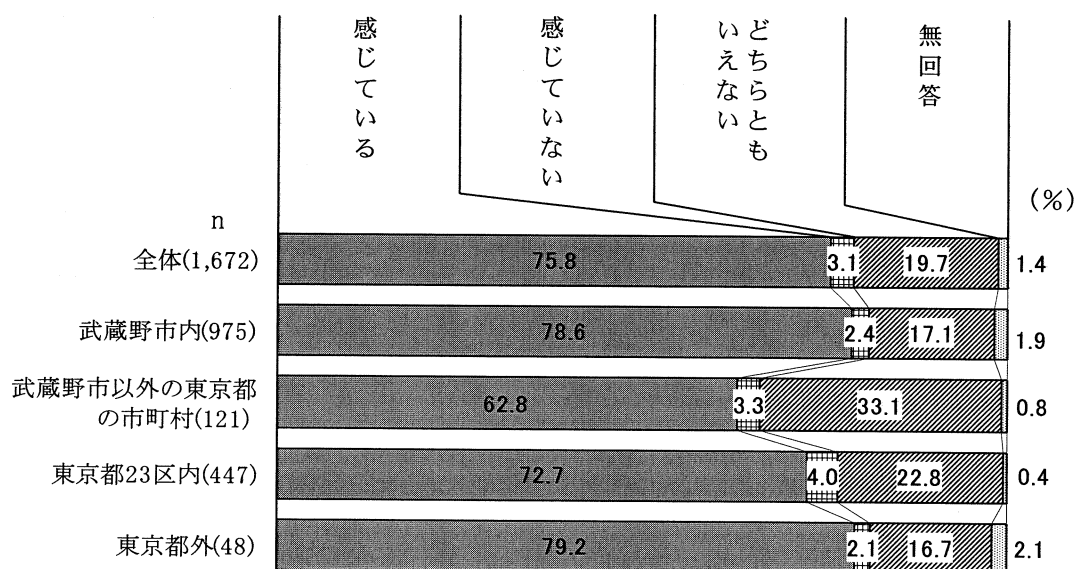
年代別に見ると、「感じている」は年齢が高くなるにつれ割合が高まる傾向にあり、80 歳以上で8割台半ば近くと最も多く、70 歳～79 歳でも8割を超えている。逆に「どちらともいえない」は20 歳～29 歳が2割台半ばと最も高く、年齢が高くなるにつれ割合が低くなる傾向にある。(図表 1 - 48)

図表 1－49 武蔵野市への誇り・愛着 （居住地域別）



居住地域別で見ると、「感じている」は吉祥寺地域で約8割と最も高く、最も低い武蔵境地域とは約10ポイントの開きがある。（図表1－49）

図表 1－50 武蔵野市への誇り・愛着 （日中多く時間を過ごす場所別）



日中多く時間を過ごす場所別に見ると、「感じている」は東京都外で約8割と最も高く、武蔵野市内がほぼ同じ割合で続いている。一方、武蔵野市以外の東京都の市町村では約6割にとどまっている。（図表1－50）